

第2回旧市民センター跡地活用検討委員会報告書

【日時・場所】

令和3年12月15日 14:00～15:30 @まちづくりセンター 第2会議室

【出席者】

旧市民センター跡地活用検討委員会委員

市民代表 (五十音順)	有 道 栄 作	綾部商工会議所青年部 会長
	泉 朝 子	綾女ねっと会長
	木 崎 仁 巳	並松町自治会長
	久 木 和 子	綾部市保育協議会長
	平 野 正 明	綾部地区自治会連合会長
	山 下 信 幸	綾部商工会議所 副会頭
市職員	山 崎 清 吾	副市長 <u>座長</u>
	吉 田 清 人	企画総務部長
	四 方 博	建設部長

【欠席者】

市民代表 (五十音順)	林 多嘉子	男女共同参画審議会 会長
	山 田 美奈子	綾部市PTA連絡協議会 副会長

【議事内容】

1. 跡地の活用方針について
 2. 基本コンセプト（案）及び整備方針（案）について
 3. 整備内容について意見交換
- ※1、2については、事務局が案を提示し、その内容について意見をいただき、3については委員による意見交換を行った。

1. 跡地の活用方針について

第1回検討委員会での意見交換のまとめとして、以下の内容を提示。

- ①市民の憩いの場、未来へ夢や希望をつなぐ活動の場として、市民が広く活用できるような整備を行う
- ②施設（建物）等の敷地としての利用は、周辺状況、整備費用、維持管理費などの観点から現実的ではない
- ③公園整備などの方向でたたき台を作成し、検討を行う

上記から跡地の活用方針を以下として設定することで委員に承諾いただいた。

- ①旧市民センターが、56年に渡り文化・スポーツの場として多くの市民に親しまれてきた場所であったことを踏まえ、今後も市民活動や憩いの場となり、未来へ夢や希望をつなぐ場所になることを目標とする
- ②多目的に利用でき、様々な人が集え、人と人のふれあいや新たなにぎわいを生み出す公園として整備する

2. 基本コンセプト（案）及び整備方針（案）について

（1）基本コンセプト（案）

基本コンセプトについては、子どもからお年寄りまで様々な世代が集い、市民の工夫により多目的に利用することで、人々が集まり、未来へ夢や希望をつなぐ魅力あふれる公園づくりを目標とし、『誰もがいきいきと気持ちよく過ごせる「未来へ夢や希望をつなぐ公園」』を設定することで委員に承諾をいただいた。

（2）整備方針（案）

整備方針として以下を提示し意見交換を行った。

①「綾部の美しい景観と魅力を体感でき、心がやすらぎ、潤う公園づくり」

由良川や紫水ヶ丘の眺望が非常に良いところであり、花火を見るにも非常に良いところということ意識した整備を行う。

②「人々が集い、多世代による交流が生まれ、和み、憩いの場となる公園づくり」

多くの幅広い世代の方が集える場にしたい、憩いの場になるようにということを考えた場となるようにする。

③「誰もがいきいきと活動できる多面的な機能を持った公園づくり」

目的を限定するようなものではなくて、色々考えて幅広く使えるような場所を目指す。

④「人々に愛され、気軽に訪れたい公園づくり」

多くの人達が気軽に利用していただけるような空間になるようにする。

⑤「バリアフリー化やユニバーサルデザインにより誰もが利用しやすい、未来を見据えた公園づくり」

必要な機能を一定備え、誰もが利用しやすい公園をつくる。

【整備方針に対する意見】

・商工会議所が花火大会を主催しているが、花火の打ち上げ費用はスポンサーの資金を集め開催している。例年、スポンサーにはお礼の意味を込め特別観覧席を設けており、今後も花火大会を持続していくためにはスポンサーが欠かせず、出資スポンサーには特別席を設置したい。みんなが利用できる場所を占有することになるが、配慮いただきたい。また、特別席に反対的な意見が出てきたときには、市に調整をお願いしたい。特別観覧席の要望が上がってくることも考えながら公園づくりをお願いしたい。

民地と堤防の法面に関しては、民地を購入し擦りつけていただきたい。花火大会のことに限ると、万燈も見られるような整備を行い、花火大会の集客が増え、流入人口も増えていくきっかけになるのではないかと。例年150席準備しても足りない。水無月大会は結構な費用がかかっている。

→観覧席としての利用もできる形を想定したい。花火が真正面に見え、堤防に擦りつけると堤防に上られ、川が見えるようになる。眺望の良い公園というのは使いやすい。皆さんも来やすく気持ちも良いところになっていく。なおかつ、万燈も見られるというところを押さえた整備は必要。民有地の所有者との交渉や、国土交通省との協議もあるが、何とかクリアし整備できるように福知山の河川国道事務所にも依頼したいと考えている。

・花火大会の日の昼間を想定すると、市民が公園を利用しながら、一級河川の由良川を見ても

らうことができるが、今は由良川が荒れているため、伐採など環境整備も必要。

→言わば綾部の玄関口であるので、市としても福知山河川国道事務所に環境整備を要望していきたい。

・並松町は今後、堤防や道路の整備が行われる。府道広野綾部線も整備されていき、旧市民センターの跡地に公園ができて行きやすい場所になるのではないかな。

→整備が進めばだいぶ変わってくる。電柱の無電柱化も行っており、市民センターの跡地付近は余計に眺望がよくなってくる。

・堤防と跡地の高さは、擦りつけをすると同じ高さになるのかな。

→同じ高さにはならないと考える。仮に擦りつけられたとしたら、階段を造設するかスロープを設置する等の形になると考える。

・堤防は車が走れるのかな。車が行き来するとなると安全面で問題がある。

→河川の管理道路であるので、基本的に市民が利用することはできず、通行不可となっている。

・花火を見下ろす場所としては利用価値ができていいのではないかな。

・水無月花火大会へは舞鶴や福知山からも来られている。開花時期が違う桜を植えるのもいいのではないかな。様々な花があれば、老若男女問わず心が和み、和やかな雰囲気の中、高齢者や若い世代、子どもたちが寄り集まる場所になる。おじいちゃんおばあちゃんたちは知恵を持っておられるので、子育て悩んでおられる方が相談し、話を聞くことで勉強になる。皆様が気持ちを楽しんでお帰りになるような場所になればよい。参考事例のテアトロン（香川県さぬき市）や利賀芸術公園（富山県南砺市）や姫路シロトピア記念公園（兵庫県姫路市）を見ているが、素敵な事例が載っている。

昔は綾部大橋がよく取り上げられていたが、今は取り上げられなくなった。ああいう風景がもう一度戻ってくればいい。並松町の周辺が改善されるので、きっと公園も素敵な場所になると夢を描いている。皆さんの力で、ひとり一人の力で寄り添って新しい市民センターの跡地にしたい。

・整備方針について異論はない。前から思っているが、市民センターのあったところは特別な場所であった気がする。風光明媚な由良川、紫水ヶ丘、そして第一市民グラウンド、有形文化財の綾部大橋など、今度整備される堤防、大本教が近くにある。この跡地は、散策するにはいい物件がたくさんあるほぼ中間に位置している。綾部の美しい景観、魅力を体感できるよいところではないかと思う。どうすれば面積を有効に活用し、楽しみがあって、わくわくするような気持ちになれるかを考える必要がある。堤防と擦りつけて、堤防の高さまでもっていけば、より景観もよくなると思う。

イベントを行う場合でも、井堰の水の音が音をかき消すのに有効ではないか。いい意味でも悪い意味でも、具体的にスケートボードなどは音がすることで、敬遠されるような種目であり、どこの町でも大体反対の方がたくさんおられる。しかし、オリンピックの種目にまでなり、次のパリでも採用され、競技人口も増えつつある。

大概のところでは禁止看板が出ているが、好きな子はルールを無視してやっていることが多い。また、この辺にはそういった施設がない。面積全部でなく、一部のゾーンだけでもよい。水の音が車輪の回る音を打ち消し、堤防の高さがある程度音が漏れるのを防いでくれる。

大変立地的にも面白く、コートなどで利用しても花火も見られ、ほかのことにも利用でき、建造物がないので、案外コストも安価になり、ひとつの公園の魅力としては大変いいのではないか。それから、バリアフリーやユニバーサルデザインにする必要がある。

近辺・近隣の中心的な施設を考えると、施設等の敷地としての利用は難しいと書いてあるが、それほど立派なトイレでなくとも、様々な機能を持たせたり、人を集めようとするのであれば、最低限のものは必要ではないか。

- ・跡地は平和塔が真正面に見えるきれいな場所であって、近くには大本教、横には熊野神社、夏には花火が行われ、平和を象徴するような場所。旧市民センターの建物がゼロ戦の倉庫だったということもあり、まさしく「平和の街 綾部」を象徴するような公園になったらいいなという気持ちがある。もし可能なら、このコンセプトか整備方針の中に「平和」という言葉が一つ入ったらうれしいと思う。

- ・綾部全体が「平和」の街であるので、入れた方がよい。

→入れる方向で検討したい。「平和」というのは綾部市の非常に重要なテーマの一つであるので、何としても入れたい。

- ・市民として、トイレなどは人が集まってもらえる場所には必要。ただいろいろな施設を設けた公園はやめるべき。

中途半端な遊具を置くというのはあまりよろしくない。本当にゆっくり市民が集まって、和んでもらえるような場所を目指すべき。市民意見でもあったように、マルシェなどをしようと思うと簡易テントでマルシェのイベントができたり、色んな活用ができる公園という方向で整備出来たらよいのではないか。

3. 整備内容について意見交換

(事務局が参考事例を挙げ整備イメージを説明)

- ・参考事例はいいものばかりだが、常時使用できるということも考慮し、周りを客席に使いながら、階段にもなるものであれば、座るのにも両方使える。経費のことも考慮しないといけませんが、屋根はある方がよい。見栄えは良く、費用は安く整備し、そのままでも利用できるような。常時、使う場所になればいいが、座れる場所は必要。予算の範囲で観覧席とトイレを設置し、日陰のあるオアシスみたいなところがあってもいいのではないか。

- ・イメージしていたのは、参考事例の南池袋公園。例にとりやすいと思う。中央には芝生で広いスペースがあり、配置は別として、階段状になっていて、座っておられる方もおり階段としても機能している。例えばトイレと東屋やスケートボードで遊ぶ場所などを整備すると色々なことに使える公園になる。

綾部は何をするにも駐車場が必要。それも5台や10台では足りず、20~30台くらいは止めら

れるような駐車場が必要になる。

前回にも意見が出たが、中央はできるだけ広く使って、ある程度色んなイベントができるようにする必要がある。子ども会とも携わっている立場からすると、イベントの開催時に市内に割と広場がない。例えばグンゼスクエアの駐車場を借りるなどして、イベントを考えているが、多目的に使える広いイベント会場があれば、綾部の為にといいものもありながらいろいろイベントを考えている方もおられると思うので、多くの人に利用いただけるのではないかと。

他市などでよく開催されているフリーマーケットなども賑わう要素になると思う。そういう風な使い方ができればよいのではないかと。

・周囲にフェンスを設置されるのか？

→それもご意見伺いながらになる。

・防犯の観点からフェンスの設置も検討してはどうか。

皆さんも言われたが、保育協議会でも雨がしのげる場所、トイレ、水道、ベンチや、テーブル、椅子とかというように、子どもたちが行ってもお手洗いができる場所、雪遊びができるような場所が欲しいという意見が出ていた。犯罪を防ぐためには街灯も必要ではないかと。

・跡地の傍には消防団の詰所がある。車が 20 台ほどは止められるが、囲いは何もない。鉄柱が置いてあるだけで、車止めとしてであれば、もう少し高いものにしてほしい。

フェンスなどの高さについては、中が全部見えないのではなく、見える部分があってもいいと思う。そうでないと中で何やってもわからない。人間が立って、首から上くらいは常に見えるぐらい。ただ入ろうと思っても入れないということは必要。

トイレであれば、中が丸見えのトイレがある。中に入れば、スモークで何も見えなくなる。きれいな風景のど真ん中にトイレを設置し、中に入ったら中が見えなくなるというようなトイレにした方が逆に防犯的にはいいのではないかと。

桜の木や大きな木があるので、できれば切ってほしい。散ってしまうと大量のゴミになる。地元からは、道に散らばらないようにしてほしいという意見もあった。

できるだけ多くの人ができるイメージで、消防団の消防団員の出入りには配慮をお願いしたい。

・多目的な利用を考えると、できるだけ建造物はない方がよいが、例えば電気や水などはイベントするときには必ず必要となる。多目的とはいえ、一定の設備は整える必要がある。

例えば堤防がステージになって観客は一段低いところから、当然そこには電源がほしいというようなことや、花などを植えるとなると水も必要になる。キッチンカーなどのイベントも開かれると、基本的なものは事前に整備して頂けたらうれしい。

堤防の高さと由良川キャンパスから交通公園につながる坂など、地形をある程度活用して、特色のある広場ができたと思う。

堤防沿いは車が通れない話があったが、自転車ぐらいはいいと思う。並松からずっと回って、例えば新綾部大橋を渡って紫水ヶ丘公園に行ったり、一定の散策行路を想定すれば、綾部大橋を映えさせることができる。公園整備と一体化したものとし、公園からは離れるが、全体像を見据えた計画をしていただきたい。

・人が集まれる公園ということを考えていく中で、先ほどトイレの話もあったが、綾部の市民センターあとの公園と言えば行ってみたいトイレがあるとか、快適だとか、使いやすいと言われてもらえるようなトイレにしてはどうか。先ほど予算の話があったが、中途半端なものになるのはよくない。

中途半端なものでなく、綾部にはこういうものができたから、ぜひやってみたい、行ってみたい、そういったところを基本に考える必要がある。

近隣であれば夜久野で、夏に野外フェスティバルが開催されている。綾部の活性化ということを見ると、市外からの流入人口、どうやって人を呼び寄せるかというコンセプトの中で整備し使っていただく。いつ申し込んでも入れないというくらい賑わいを生むような公園にしていきたい。

音楽フェスティバルを開催すると、騒音の問題が出てくる。西町の活性化を思い、よさこいを開催しているが、人は集まるけれども、大音量で音楽を流すことになるので、住人の中にはよく思われない方もおられる。

この公園が整備されると、花火の前日にフェスティバルを開催できる。イメージとしては日比谷野外音楽堂のように、背中側に壁があり音が漏れないようにし、川に向いたステージを設置するなど考える必要がある。フリーマーケットなど一日通して利用できるような、利用価値のあるものを考えていかないといけない。だから、あまり予算のことを今は言うべきではないのではないか。

こういったものをしてほしい、綾部はすごいと、だから綾部のまちへ行きたいというようなことを考えていくとずいぶん変わってくる。

そうすることで、西町の通りも大本の通りも人が歩いてくれ、どんどんお店が賑やかになり、食堂が流行ったりというようなことになっていくと思うので、あまり予算のことは言わずにやってほしい。

・綾部市民みんなが楽しめる公園がよい。例えば日中はお年寄り、小さいお子さんが安心して遊べて、夕方には綾高生とか小学生がスケートボードをしたりダンスをしたり、休日は家族連れが遊べて、イベントが開催されていて、夜は近くのお店で飲んだ後に酔いが醒ませたりというような、いつも誰かが、人がいるというようなところになればよいと思う。

・防犯カメラはつけてもらいたい。絶対にやらないといけない。

・使用料は取ることになるのか。

→通常、都市公園を占用的に使われる場合は占有料というのが発生することになっている。どういう整備になるかによって変わらと思うが、例えば施設をつくると、客席とかトイレはよいが、施設を占有する場合は施設使用料をとる場合もある。整備する内容によってどのように考えるか、一般的には公園をみんなで使う分にはいいが、イベントを開催するために占用的に抑えるという場合には都市公園は占有料を取るような形になっている。あるいは、自治会とかで使われる場合は使用料を免除にできると考える。

・それは綾部市内の方だけか？

→料金を取るのはいち市の方、市外の方一緒になる。免除する場合は色々条件を付け、公的な後

援がある場合や、主催が公的機関・団体であるとかいうようなことで、免除にできると思う。運用は現状と変わらないことになると思う。個別に施設ができた場合には、それに対して使用料を取って有料施設としている場合もある。維持管理を要するので、ある程度の使用料をいただくということも必要と考える。

・皆さまに多目的に使っていただくという方向で考え、防犯上の関係で柵の話もあったが、当然公園内に車両が入ることがないように対策は取らないといけない。だが、その柵がフェンスとなるとすごく閉塞的に見えてしまう。段差のあるもので防ぐとか、植栽を植えることなどでカバーできることだと思うので、見た目は閉塞感のない開放的なものにできたらよい。今後の検討の中で詰めていけたらと考えている。

事務局

可能な限りいただいた内容を実現できる方向で検討し、良いものを作っていかないといけない。中途半端なものがあったというようなことにはならないようにはしたいと思っているので、なんとか充実した形の整備をしたいと思っている。

今回いただいた意見を基に具体的な整備案を作成し、整備イメージの絵のようなものも次回お示しができればと考えている。

【まとめ】

- ・基本コンセプトと整備方針について、案の内容で進めていくことについて委員の承諾を得た。
- ・整備方針の議論の中で提案いただいた「平和」という言葉を用い、再度整備方針を再考する。
- ・広場関連や自然関連、あるいは駐車場の関係、ステージの関係など、いただいた意見を整理し、整備計画のたたき台のイメージをまとめ、第三回目の検討委員会で提示し、意見交換をいただく。

- ・二月くらいには提言をいただいて、来年の三月議会の当初予算に整備の関係の予算を乗せていくようなスケジュール感でやっていく予定。